

駒の子短歌

No.52 令和2年12月25日(金) 佐久市立望月小学校

今年の漢字(その3)

漢字	理由
去	オリンピックの機会が去りましたが、小学校から去る、特別な年だった。来年、コロナが去ることを願って、この「去」が今年の一文字だと思う。 大樹さん
防	コロナウイルスを防ぐためにマスクをして、感染予防をしたから。 咲歩さん
料	お料理がうまくなったから。 渚夢さん
新	新しいウイルス、新しいアニメ、新しい生活など、新しいという字がいっぱいあるから。 翔さん
強	コロナにならないように強くする。 優姫さん
楽	修学旅行は東京でなく長野県だったけど、楽しかったから。コロナでいろんなことや行事がなくなったけど、それはそれでそれなりに楽しくできたから。 明衣さん
止	時は流れているし、子どもたちも成長している。そんな中で今までと違った生活を送ることに戸惑いとやりきれなさど、心の置き所のない毎日が受け止めきれない。 全て stop している気がする。 郁子先生
寂	子どもたちの帰省もままならずにあります。(寂しい) 美奈子先生
試	大きな試練、小さな試練、たくさん試練が毎日目の前に・・・ 病も含め、心を試される一年でした。 幸長先生
添	コロナの状況でいろいろな変更があり、いろいろな対応をその時その時に合わせていけなかった「添う」と、子どもたちや先生方に寄り添った行動をしたいと思い、この漢字にしました。 泰子先生
創	スクラップアンドビルド(できれば・・・) できたものが一度崩されて、また、つくられていく。理想、目標、含め・・・ 晃枝先生
待	コロナによる休業、休校、入社延期、入国 etc.・・・の待機の「待」。外出自粛による飲食・観光業の客「待」ち。ワクチンの完成が「待」たれる現状。とにかくコロナが一刻も早く終息するのが「待」たれます。 教頭
考	次々に生じる困難な課題をどう解決したらよいか考え続け、迷いながらも実行した一年だった。また、子どもたちが考えを交流しながら学びを深める授業を追究し続けている。 校長

困難な 課題に向かい 考えた

学びを深める 追究果てなく